

「青森・岩手・秋田 自動車技術展示会 in マツダ」 ニーズ勉強会 ～秋田会場～

開催内容 2019年に予定するマツダでの技術展示会に向けた北東北3県の企業のための技術ニーズの勉強会



メーカーの考え方を知り、驚きの発想・鋭い提案を!

青森・岩手・秋田の3県では自動車産業の振興のため、自動車メーカーや大手サプライヤとの商談会を年1回開催しており、2019年はマツダ株式会社（広島県安芸郡）での開催を計画している。そのため、県と当センターでは、参加企業がメーカーのニーズに合った効果的な提案を練ることを支援するべく、8月28日、平鹿生涯学習センターを会場に「青森・岩手・秋田 自動車技術展示会 in マツダ ニーズ勉強会」を開催した。（※北東北3県向けとして盛岡市と横手市の2ヶ所で開催）

マツダ株式会社から招聘した3名の講師による、基調講演「マツダの開発革新と求められる技術」や3領域のニーズ説明「パワートレイン・電気駆動領域」「次世代車両技術領域」「安全・快適性領域」について、秋田県内の自動車関連企業を中心に52名が参加、熱心に耳を傾けた。

特に基調講演では、世界シェア2%のスマールプレーヤーであり、売上の80%を輸出に頼りながらも、生産台数の約半数を国内生産にすることで国内雇用を維持するマツダの企業姿勢や、リーマンショック等で大きな打撃を受けた後も飽くなきものづくり精神で技術革新を押し進め、SKYACTIV技術や魂動デザインなどにより新たなブランド価値を生み出すことに成功した経緯を説明。

「ハイブリッド車や電気自動車などの電気駆動技術、自動運転などの先進安全技術、これらの研究開発にも取り組んでいくのはもちろんだが、中長期的な戦略としてマツダが探究し続ける内燃機関にもまだまだ開発の余地が

ある。マツダが求めているのは、世界を驚かせる技術。少しでも可能性を感じるものがあつたらぜひ披露してほしい。クルマの未来のために、ぜひ皆さんの力を貸して頂きたい」と締めくくった。

参加者の声

日発精密工業株式会社
製造・技術部 製品三課
田中 順朗 さん



当社はねじ工具や自動車部品、産業用精密部品の製造を行っております。今回の講演会では、開発者の声によるこれからの時代で求められるニーズ等、普段なかなか聞くことができない内容で貴重な経験となりました。

当社横手工場では油圧ポンプ用ベーンやオートマチックトランスミッション用の皿ばね等を製造しており、今回ご説明いただいたニーズに基づく、新たな技術や工法の提案ができないか、社内でも講演内容を共有して検討していきたいと思っております。



(左上)R&D技術管理本部 主幹
武田 克己 氏

(右上)パワートレイン企画部 主幹
小笠原 徹 氏



(左下)技術研究所 上席研究員
宮内 俊二 氏



マツダ株式会社から派遣された講師陣。淡々とニーズを羅列するのではなく、「マツダはどんな価値を提供しようとしているか、なぜこういった技術を求めるのか」といったものづくりの考え方や心の部分から入る姿勢が一貫しており、聴衆を惹き込んでいた。